

埼玉県川越市立月越小学校

(概要)

- ・児童数（クラス数）：364名（12クラス）
- ・構造・階・面積・事業費：鉄筋コンクリート造3階建、6,348㎡、改築事業費約13億円
- ・エコスクールの事業タイプ：太陽光発電型、省エネルギー・省資源型、自然共生型、その他
- ・整備期間：検討期間H12.11～H17.5 工事期間H17.6～H18.11
- ・要旨

既存校舎の老朽化が進み、耐力度が不足していたことから、児童の安全確保及び教育環境の改善を図るため、改築を行うこととした。改築に際しては、環境に優しい学校を実現するため、市内外の関係機関と協議を行い、着工に至った。

(エコスクール化の内容)

○太陽光発電設備の設置（太陽光発電型）

・事業の概要

校舎の屋上に容量10kWの太陽光発電設備を設置するとともに、校舎内に発電量表示盤を設けた。

・設置上の配慮

改築と同時に設置することから、改築設計の段階からモジュールの設置箇所については日射のよい部分となるよう配慮した。また、余剰電力について売電できる装置を設置している。



○雨水利用設備の設置（省エネルギー・省資源型）

・事業の概要

校舎の地下に雨水の貯留槽を設け、その水をトイレの洗浄水として利用できる設備を設置した。



○通風、採光の導入（その他）

・事業の概要

風通りが良く、採光の大きな校舎となるよう設計することで、児童が快適に学校生活を送れるようにするとともに、省資源にも努めた。



○屋上緑化の実施（自然共生型）

・事業の概要

屋上緑化を行うことにより、CO2の削減と暑さ対策の両面で効果を得られるとともに、児童が自然と触れ合える機会を設けた。

(エコスクール化の効果)

○太陽光発電設備の発電量

平成 21 年度においては、年間で 12,412kWh の電気を発電した。これにより、学校で使用する電力の約 1 割を太陽光発電設備にて賄うことができた。また、余剰電力として発電された 216kWh については、電力会社へ売電を行った。



○雨水利用設備の効果

雨水の利用により、月越小学校の水道使用料は市内の小中学校の中でも最も少ないものになっており、市内小中学校の平均水道使用料の約半分に抑えられている。

(環境・エネルギー教育への活用)

○太陽光発電設備による環境教育

太陽光発電設備による発電量は、校舎昇降口（来客用玄関を兼ねる）に設置された表示盤により、児童・教職員だけでなく、学校を訪れた地域の人々の目にも触れるようになっている。

これにより、多くの人々に太陽光発電設備の効果をアピールすることができ、各家庭における省エネ意識の啓発や、太陽光発電設備の設置の促進に生かすことができた。



○エコチャレンジスクールへの取り組み

川越市では、環境にやさしい学校づくりに取り組む学校に対し、エコチャレンジスクールとして認定している。

月越小学校でも、児童と教職員が共になって、電気・水道の使用量の削減、学校の緑化活動、太陽光発電設備の発電量調査に取り組んでいる。

取り組みの内容については、校内に掲示することにより、学校全体で環境への意識を共有できるよう努めている。

